

## 国の機関等による国際会議等の北海道開催実績（令和4年度）

	会議名	主催者	開催時期	開催場所	会議の概要	参加人数
1	第29回低温物理学国際会議	第29回低温物理学国際会議組織委員会、一般社団法人日本物理学会、日本学術会議	令和4年8月18日～24日	札幌市	「量子力学が顕著に現れる低温における現象とその応用を研究する低温物理学」をメインテーマに、「量子気体、液体及び固体」「超伝導」「磁性および量子相」「ナノ物理学と量子情報」「低温技術とデバイス応用」などを主要課題とした研究発表と討論が行われた。	778名 (367名)
2	第22回真空に関する国際会議	公益社団法人日本表面真空学会、日本学術会議	令和4年9月11日～16日	札幌市	国際真空科学・技術・応用連合（IUVSTA）が3年ごとに開催する国際会議。「未来の環境・エネルギー問題に挑戦する表面・真空科学」をメインテーマとして、非蒸発型ゲッターポンプ、環境問題解決にむけた表面反応研究、2次元物質の合成と物性、ナノ粒子合成と触媒機能、高密度プラズマ反応の解析と応用、半導体ヘテロ界面の合成と光機能等を主要題目として、研究発表と討論が行われた。	約900名 (約50名)
3	北太平洋漁業委員会（NPFC）年次会合	北太平洋漁業委員会	令和5年3月17日～24日	札幌市	サンマの保存管理措置、漁獲物の転載の管理措置等、北太平洋公海における漁業資源の長期的な保存及び持続可能な利用に向けた保存管理措置等に関して議論。	96名（2名）

出典：国土交通省北海道局調べ

注1：国の機関等とは、各省庁、地方支分部局、各省庁が所管する独立行政法人、特殊法人などのことを指す。

注2：本資料の「国際会議等」は参加者総数10名以上、参加国数は日本を含む2カ国以上を対象としている。

注3：（ ）はオンラインでの参加人数